

2020年8月3日

HSBC ホールディングス plc

2020 年中間決算 – ハイライト

グループ・チーフ・エグゼクティブ ノエル・クインのコメント

「上半期の業績は新型コロナウイルスのパンデミック、金利低下、地政学的リスクの増大、市場ボラティリティ水準の上昇の影響を受けた。それにもかかわらず、アジア地域の営業網は回復力を示し、グローバル・マーケッツ事業は昨年度上半期よりも高い成長を達成した。新型コロナウイルス感染拡大に対応するために事業再編計画の一部の実施を中断したが、現時点では2月に発表したこの計画の実施を加速させようと考えている。また新たな経済環境を踏まえてHSBCをより強固かつ、より持続可能な企業にするためにどのような追加的な行動を起こす必要があるか検討中である」

「現在の米中間の緊張関係によって、HSBCが営業を行う国と地域の組織にとって困難な状況が生じるのは避けられない。どのような政治的困難が生じて、HSBCは顧客の長期的なニーズを満たすことと、投資家に最善の利益をもたらすことに重点を置き対処する」

財務業績（前年同期比）

- 報告ベースの税引後当期純利益は前年同期比69%減の31億米ドル、報告ベースの税引前当期純利益は前年同期比65%減の43億米ドルとなった。これは予想信用損失およびその他の信用減損損失（ECL）が増加し、収益が減少したためである。2020年上半期の報告ベースの利益には主に欧州で発生したソフトウェア無形資産の減損損失の12億米ドルも含まれている。
- アジア地域における2020年上半期の報告ベースの税引前当期純利益は、ECLの増加にもかかわらず、74億米ドルとなったが、これはこの地域における事業の競争力の強さと持続的な回復力が維持されていることを示し、グループにとってのアジア地域の重要性を浮き彫りにするものだった。ECL計上額の増加が、アジア以外の地域の市場、とりわけ欧州市場全般での事業の収益性にとって大きな打撃となった。
- 報告ベースの収益は前年同期比9%減の267億米ドルとなった。これは金利低下の影響に加えて、生命保険事業に対する市場の悪影響、グローバル・バンキング&マーケッツ（GBM）部門での、特に2020年第1四半期における評価調整が不利に働いたことを反映したものである。これらの要因の影響が、グローバル・マーケッツ部門での収益拡大を相殺して余りあるものだった。
- 純金利マージン（NIM）は2020年上半期には1.43%となり前年同期を18ベースポイント（bp）下回った。2020年第2四半期のNIMは1.33%と、第1四半期を21bp下回ったが、これは新型コロナウイルスの感染拡大に伴う金利低下の初期の影響を主に反映したものである。
- 報告ベースのECLは57億米ドル増加して69億米ドルになった。これは新型コロナウイルスの感染拡大と先行きの経済見通し悪化の影響に加えて、特定の大口融資先企業に関係する損失の拡大によるものであった。顧客への平均総貸付金に対するECL（年率換算）の比率は2020年上半期には1.33%だった。一方、顧客への貸付金に対するECLの貸倒引当金は2019年12月31日時点の87億米ドルから2020年6月30日時点には132億米ドルに増加した。
- 報告ベースの営業費用は、ソフトウェア無形資産の減損損失が12億米ドルあったにもかかわらず、前年同期比4%減となった。調整後の営業費用は、投資が継続しているにもかかわらず、業績連動報酬が減少し、裁量可能費用が削減されたために前年同期比5%減となった。

- **2020 年上半期の融資は報告ベースで 180 億米ドル減少した。為替変動の影響を除いた場合、融資は 120 億米ドル増加した。** これは 2020 年第 1 四半期に法人顧客が既存または新たなクレジットライン（融資限度額）を利用して現金残高を増やすために借り入れて、その資金を再度預金したことを反映しているが、第 2 四半期にはその融資の一部が返済されたため、第 1 四半期の融資増加分の一部が相殺された。**預金は報告ベースでは 930 億米ドル、為替変動の影響を除いた場合には 1,330 億米ドルそれぞれ増加した。**これは政府が支援する計画に関係した融資分の預金を含む、HSBC のすべての世界的な事業の拡大によるものである。
- **普通株式等 Tier 1 (CET1) 資本比率は 2019 年第 4 四半期末から 30bp 改善して 15.0% となった。**これは 2019 年第 4 四半期に配当を見送ったことと、今期に入り普通株式に対する配当を停止していることによる押し上げ効果が、リスク加重資産 (RWA) の増加の影響を上回ったためである。

2020 年の見通し

- **2020 年下半年から 2021 年にかけても引き続きさまざまな経済情勢に直面する可能性があるが、事態の成り行きは新型コロナウイルス感染拡大の新たな波が引き起こす可能性のある影響の程度、期待されるワクチン開発の動向、市場と消費者の信頼感の水準に部分的に依存するとみられる。**地政学的リスクが上昇していることも、香港および英国を含む多数の市場に影響を及ぼす可能性がある。
- **2020 年中期報告書 (Interim Report 2020) の 56 ページから 62 ページで開示した ECL 感度分析で一連のウェイト付けを行った結果、2020 年の ECL 計上額は 80 億米ドルから 130 億米ドルの範囲に収まる可能性が高いという結果が得られた。**この範囲は、引き続き新型コロナウイルス感染拡大および地政学的緊張による不確実性の影響を大きく受けるが、経済成長率のコンセンサス予想が低下し、2020 年第 2 四半期の損失額の実績が加わった結果、2020 年第 1 四半期決算発表時点の予想を上回っている。
- **世界的な金利の低下と顧客の経済活動の鈍化によって収益に対する抑制圧力が強まっており、今後も同様の状況が続くとみられる。**
- **事業再編計画の実施を加速させようとしているのに加えて、収益に対する圧力を緩和し、テクノロジーに対する追加投資の余地を生み出すために追加的なコスト削減策を実施しようとしている。**
- **2020 年には RWA は 1 桁台後半の伸びを示すと予想しているが、これは主として信用格付けが引き下げられるケースがいくつかあったためであり、これが CET1 比率に対して下落圧力を加えるとみられる。**収益性の低い分野に関する RWA を削減し、競争上の優位性があり、収益率と成長性が高い分野に、資源を追加的に、またより早急に割り当てるために効率性を改善することを引き続き目指している。
- **現時点では不透明感が非常に強いことから、状況の変化が事業計画や中期財務目標にどのような影響を与えるかを引き続き注意深く監視する一方、将来の配当政策の見直しも開始している。**中期財務目標および配当政策に関する最新情報を 2020 年の年間決算発表の際に公表する予定である。

連結損益計算書

	2020 年上半期	2019 年上半期	2019 年下半期
	百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
純利息収益	14,509	15,240	15,222
－ 受取利息	23,000	27,750	26,945
－ 支払利息	(8,491)	(12,510)	(11,723)
純手数料収益	5,926	6,124	5,899
－ 受取手数料	7,480	7,804	7,635
－ 支払手数料	(1,554)	(1,680)	(1,736)
公正価値で表示されているかトレーディング目的で保有している金融商品からの純収益	5,768	5,331	4,900
保険事業および損益を通じた公正価値で表示するその派生商品の資産と債務からの純収益／（費用）	(1,290)	2,196	1,282
指定債券およびその派生商品の公正価値変動分	197	88	2
損益を通じた公正価値での表示が必要なその他の金融商品の公正価値変動分	80	457	355
金融投資からの利益（損失控除後）	466	201	134
純経過保険料	5,020	6,323	4,313
その他の営業収益	471	2,072	885
営業収益合計	31,147	38,032	32,992
純既発生保険金および保険契約者債務の変動	(4,402)	(8,660)	(6,266)
予想信用損失およびその他の信用減損損失前営業収益	26,745	29,372	26,726
予想信用損失およびその他の信用減損損失の変動分	(6,858)	(1,140)	(1,616)
純営業収益	19,887	28,232	25,110
人件費	(8,514)	(9,255)	(8,747)
一般管理費	(4,918)	(6,372)	(7,456)
有形固定資産、使用権資産償却費および減損損失	(1,209)	(1,010)	(1,090)
無形資産、営業権償却費および減損損失	(1,845)	(512)	(558)
営業権の減損	(41)	—	(7,349)
営業費用合計	(16,527)	(17,149)	(25,200)
営業利益／（損失）	3,360	11,083	(90)
関連会社および合併会社からの利益分配金	958	1,324	1,030
税引前当期純利益	4,318	12,407	940
法人所得税等	(1,193)	(2,470)	(2,169)
当期純利益／（損失）	3,125	9,937	(1,229)
帰属利益			
－ 親会社普通株主	1,977	8,507	(2,538)
－ 親会社優先株主	45	45	45
－ その他株主	617	664	660
－ 少数株主	486	721	604
当期純利益／（損失）	3,125	9,937	(1,229)
	米ドル	米ドル	米ドル
普通株式 1 株当たり利益(基本ベース)	0.10	0.42	(0.13)
希薄化後普通株式 1 株当たり利益	0.10	0.42	(0.13)

連結包括利益計算書

	2020 年上半期	2019 年上半期	2019 年下半期
	百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
当期純利益／（損失）	3,125	9,937	(1,229)
その他包括利益／（損失）			
特定の条件を満たした場合、後の期間に損益として再区分される項目:			
その他の包括利益を通じた債務証券の公正価値	1,747	1,015	137
－ 公正価値評価益／（評価損）	2,654	2,141	(348)
－ 売却により損益計算書に振り替えられた公正価値評価益／（評価損）	(454)	(794)	429
－ 損益計算書に認識された予想信用回収／（損失）	109	(5)	114
－ 法人所得税	(562)	(327)	(58)
キャッシュフロー・ヘッジ	476	239	(33)
－ 公正価値評価益	255	241	310
－ 損益計算書に振り替えられた公正価値評価損／（評価益）	364	68	(354)
－ 法人所得税その他の変動	(143)	(70)	11
その他包括利益／（損失）のうち関連会社および合弁会社の持分	(115)	73	(52)
－ 当期持分	(115)	85	(64)
－ 売却により損益計算書に振り替えられた公正価値（評価益）／評価損	—	(12)	12
為替換算差額	(4,552)	109	935
後の期間に損益として再区分されない項目:			
確定給付年金プラン関連の数理計算上の利益／（損失）	1,182	(45)	58
－ 法人所得税等控除前	1,703	(50)	33
－ 法人所得税等	(521)	5	25
当初公正価値で表示した金融負債の自社クレジットリスクの変動による公正価値増減	2,354	(1,445)	(557)
－ 法人所得税控除前	2,936	(1,816)	(823)
－ 法人所得税等	(582)	371	266
その他包括利益を通じた資本制金融商品の公正価値	(123)	268	98
－ 公正価値評価益／（評価損）	(122)	265	99
－ 法人所得税	(1)	3	(1)
ハイパーインフレの効果	72	113	104
当期のその他の包括利益／（損失）、税効果後	1,041	327	690
当期包括利益／（損失）	4,166	10,264	(539)
当期包括利益の帰属:			
－ 親会社普通株主持分	3,043	8,741	(1,903)
－ 親会社優先株主持分	45	45	45
－ その他持分	617	664	660
－ 少数株主持分	461	814	659
当期包括利益／（損失）	4,166	10,264	(539)

連結貸借対照表

	2020年 6月30日 百万米ドル	2019年 12月31日 百万米ドル
資産		
現金および中央銀行預け金	249,673	154,099
受取為替	6,289	4,956
香港特別行政区政府債務証券	39,519	38,380
トレーディング資産	208,964	254,271
損益通算後の公正価値による表示ないし算定が必要な金融資産	41,785	43,627
デリバティブ資産	313,781	242,995
銀行貸付金	77,015	69,203
顧客貸付金	1,018,681	1,036,743
リバースレボ取引-非トレーディング目的	226,345	240,862
金融投資	494,109	443,312
前払い金および未取収益その他の資産	197,425	136,680
当期税金資産	821	755
関連会社および合弁会社持分	24,800	24,474
営業権および無形資産	19,438	20,163
繰延税金資産	4,153	4,632
資産合計	2,922,798	2,715,152
負債および資本		
負債		
香港流通紙幣	39,519	38,380
銀行預り金	82,715	59,022
顧客勘定	1,532,380	1,439,115
レボ取引-非トレーディング目的	112,799	140,344
支払為替	6,296	4,817
トレーディング負債	79,612	83,170
公正価値で表示されている金融負債	156,608	164,466
デリバティブ負債	303,059	239,497
社債	110,114	104,555
未払費用および前受収益その他の負債	173,181	118,156
当期税金負債	1,141	2,150
保険契約債務	98,832	97,439
引当金	3,209	3,398
繰延税金負債	4,491	3,375
劣後負債	23,621	24,600
負債合計	2,727,577	2,522,484
資本		
資本金	10,346	10,319
資本剰余金	14,268	13,959
その他持分	20,914	20,871
その他剰余金	(301)	2,127
繰越利益剰余金	141,809	136,679
総株主持分	187,036	183,955
少数株主持分	8,185	8,713
資本合計	195,221	192,668
資産および負債合計	2,922,798	2,715,152